

# 仕様書

## 1. 件名

台風の航空機観測業務 一式

## 2. 目的

本仕様書は、ムーンショット目標8の研究の一環として実施する、台風の航空機観測において、二重壁雲の台風の目内部、壁雲領域、およびモート領域（内側と外側壁雲のあいだの領域）を中心とする領域の熱力学的構造および過冷却水滴の環境場のデータが不足しているので、本フライトを実施する。

## 3. 委託業務の範囲

- (1) 運航計画の作成
- (2) 観測飛行および飛行情報の収集・記録
- (3) ドロップゾンデの投下操作
- (4) 飛行中の位置・姿勢情報収集及び記録
- (5) 観測飛行を行うかどうかの判断
- (6) 業務報告書の作成提出

## 4. 使用航空機と飛行時間

ドロップゾンデの投下と信号受信が可能であり、これまでに明星電気製ドロップゾンデの投下観測の実績を有する機体を使用する必要があるため、Gulfstream IV 型機を使用する。

- ▶ 想定飛行時間 : 20 時間 00 分（観測飛行、空輸飛行を含む）

## 5. 実施時期

契約締結日から令和8年10月31日までの間の適当な天候時

注：適当な天候時とは、沖縄本島の南方海上から南西諸島の海域または研究代表者が指定する海域において台風が存在している状況、および県営名古屋空港からの空輸または進出に重大な支障をきたす気象擾乱が存在しない状況。

## 6. 観測場所

沖縄本島の南方海上から南西諸島または研究代表者が指定する海域

## 7. 使用空港

県営名古屋空港、那覇空港、または鹿児島空港（またはその周辺の空港）

## 8. 提出書類

- (1) 報告書等  
業務完了報告書（簡易）
- (2) 提出期限  
令和8年11月30日
- (3) 提出場所  
横浜国立大学台風科学技術研究センター

## 9. その他

本仕様書に定められた以外での事項で疑義が生じた場合には、担当職員の指示に従うものとする。

## 10. 仕様細目

- (1) 運航計画の作成  
研究代表者および代表者が指名する本観測の担当者と打ち合わせの上、観測および航空機の運航計画を作成する。
- (2) 観測飛行および飛行情報の収集・記録  
研究代表者および代表者が指名する本観測の担当者と打ち合わせの上、ドロップゾンデ投下と受信を目的とした観測飛行（空輸飛行を含む）を行う。  
観測飛行中は慣性航法装置（POSまたはINS）相当品による飛行情報の収集・記録を行う。
- (3) ドロップゾンデの投下操作  
観測飛行中、本学担当者の指示に従い、ドロップゾンデの投下操作をする。
- (4) 飛行中の位置・姿勢情報の収集及び記録  
観測飛行中は使用航空機に搭載された慣性航法装置（POSまたはINS）相当品による飛行中の位置・姿勢情報の収集・記録を行う。
- (5) 観測飛行を行うかどうかの判断  
安全に飛行できるかどうかの観点から、観測飛行を行うかどうか判断する。
- (6) 業務報告書の作成提出

## 11. 観測機器

- (1) 機内持ち込み品

- ・ドロップゾンデ【明星電気株式会社製 iMDS-17 50 個】

(2) 必要機器

- ・ドロップゾンデ通信受信システム【明星電気株式会社製 2 台】
- ・ドロップゾンデ投下装置【ダイヤモンドエアサービス株式会社製 1 台】

別紙役割分担表

No	業務内容	受注者が担当	本学及び本学 担当者が担当
1.	持ち込み品（ドロップゾンデ）の準備		○
2.	適当な天候であるかどうかの判断、飛行対象となる台風の選択及び飛行の要請		○
3.	運航計画の作成及び航空局との調整	○	
4.	安全に飛行できるかどうかの観点から、観測飛行を行うかどうかの判断	○	
5.	観測機器の確認・調整 ※観測機器が受注者の業務に用いることができるように調整する。		○
6.	観測飛行中のドロップゾンデの投下操作に関する指示		○
7.	観測飛行中のドロップゾンデの投下操作	○	
8.	観測機器を用いたデータの取得・記録		○
9.	飛行中の位置・姿勢データの収集・記録	○	
10.	取得・記録されたデータの整理・分析		○
11.	業務報告書の作成提出	○	